

令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領

1 事業の目的

栃木県、日光市及び関係団体等の連携協力のもと、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の成功に向けた支援を行うとともに、関連する事業の実施により、地域の活性化に資することを目的とする。

2 業務概要

- (1) 業務名 令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務
- (2) 業務内容 別紙「令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務委託仕様書」(以下「仕様書」という。)のとおり
- (3) 契約期間 契約締結日から令和5(2023)年3月30日(木)まで
- (4) 委託料上限額 29,700,000円(消費税及び地方消費税を含む。)
- (5) 問い合わせ先 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号
G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会事務局
(栃木県総合政策部G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進室)
(栃木県総合政策部 総合政策課 政策調整・地方分権担当)
TEL:028-623-2209 FAX:028-623-2216
E-mail:sogo-seisaku@pref.tochigi.lg.jp

3 参加資格

企画提案に参加する者は、次に掲げる要件をすべて満たしていること。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 競争入札参加者資格等(平成8年栃木県告示第105号)に基づき、入札参加資格を有する者であること。又は契約締結時までに資格を取得する見込みであること。
- (3) 参加表明書及び企画提案書の受付期間において、栃木県競争入札資格者指名停止等措置要領(平成22年3月12日付け会計第129号)に基づく指名停止期間中でない者であること。
- (4) 民事再生法(平成11年法律第225号)の規定による再生手続開始の申立て、会社更生法(平成14年法律第154号)の規定による更生手続開始の申立て、又は破産法(平成16年法律第75号)の規定による破産手続開始の申立てが行われている者でないこと。

- (5) 栃木県暴力団排除条例（平成 22 年栃木県条例第 30 号）第 2 条第 1 号又は第 4 号の規定に該当しない者であること。

4 プロポーザル実施の手続

(1) 実施スケジュール

ア 実施要領等の公表	令和 4（2022）年 12 月 15 日（木）
イ 質問受付期限	令和 4（2022）年 12 月 20 日（火）15 時必着
ウ 質問に対する回答	令和 4（2022）年 12 月 22 日（木）予定
エ 参加表明書の提出期限	令和 4（2022）年 12 月 26 日（月）15 時必着
オ 企画提案書の提出期限	令和 5（2023）年 1 月 11 日（水）15 時必着
カ 審査(プレゼンテーション)実施	令和 5（2023）年 1 月 13 日（金）予定
キ 審査結果の通知・公表	令和 5（2023）年 1 月 16 日（月）

(2) 実施要領等の配布

栃木県ホームページ（産業・しごと-入札・公売-入札・公募（業務委託））からダウンロードすること。

URL:<http://www.pref.tochigi.lg.jp/kensei/nyuusatsu/koubo-itaku/index.html>

(3) 質問・回答

プロポーザル方式に参加するに当たり質問事項がある場合は、簡易なものを除き、質問書（別記様式 1）により電子メール又は FAX により提出すること。

ア 受付期間：公募開始日～令和 4（2022）年 12 月 20 日（火）15 時必着

イ 質問方法：電子メール又は FAX により、2（5）に提出すること。

ウ 回答期日（予定）：令和 4（2022）年 12 月 22 日（木）

エ 回答方法：回答は栃木県ホームページに掲載する。

(4) 参加表明書の提出

プロポーザルへの参加を希望する者は、参加表明書（別記様式 2-1）及び確認書（別記様式 3）を作成し、持参、郵送又は電子メールにより提出すること。

ア 提出期限：令和 4（2022）年 12 月 26 日（月）15 時

※提出期限後に到着した応募書類は無効とする。

イ 提出場所：2（5）

ウ 提出方法：持参（平日の午前 9 時～午後 5 時まで）、郵送（書留郵便に限る。）又は電子メール

※郵送又は電子メールの場合は、到着確認のため電話連絡を行うこと。

※なお、参加表明書の提出後に参加を辞退する場合は、令和 5（2023）年 1 月 5 日（木）15 時までには辞退届（様式任意）を提出すること。

(5) 企画提案書の提出

参加表明書の提出後、仕様書及び以下のア～オに基づいて企画提案書を作成し、紙資

料及び電子データを提出すること（紙資料は郵送又は持参、電子データは電子メールにより提出すること）。※郵送の場合は、到着確認のため電話連絡を行うこと。

ア 企画提案書の用紙は、原則としてA4版用紙を使用することとし、A3版用紙を使用する場合には、A4版サイズに折り込むこと。カラー印刷とすること。

イ 企画提案書の様式は任意であるが、次の事項を含めて作成すること。なお、記載順序は任意とする。

(ア) 企画提案内容（目的、効果、訴求ポイント等）

(イ) 実施計画及び全体のスケジュール

(ウ) 業務遂行人員体制

(エ) 類似事業の業務実績

(オ) 見積額

ウ 企画提案書は1者1提案とする。

エ 企画提案書の提出部数は、11部（正本1部、副本10部）とする。

なお、審査の公正を期すため、副本には参加者名を記入しないこと。

オ 提出の際に、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会（以下「協議会」という。）会長宛ての見積書の正本1部を提出すること。なお、見積書は必要な項目ごとに区別する（諸経費や消費税も区別する）とともに、企画提案書の見積額と整合させること。

(6) 企画提案書等提出書類の取扱い

ア 提出期限後は、提出書類の変更、差替、再提出若しくは撤回は認めない。

イ 提出書類は、理由の如何を問わず返却しない。

ウ 企画提案書は、栃木県情報公開条例（平成11年栃木県条例32号）に基づく公文書開示請求の対象となる。

エ 県は、必要に応じて、追加資料の提出を求めることができる。

オ 企画提案書等の作成及び提出に係る費用等、プロポーザル参加に要する経費はすべて参加者の負担とする。

カ 参加者は、企画提案書の提出をもって、実施要領等の記載内容に同意したものとみなす。

キ 企画提案書に使用する言語は日本語、使用する通貨は円とする。ただし、海外経費等で必要な場合は英語表記を併記すること。

ク 提出された企画提案書は、選考を行う作業に必要な範囲において、複製を行う場合がある。

ケ 企画提案書等の著作権は、提案者に帰属する。

コ 企画提案書等に含まれる著作権、特許権など日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果、生じた責任は提案者が負う。

5 審査方法等

(1) 評価基準

別表「令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務委託公募型プロポーザル審査会審査基準」のとおり。

(2) プレゼンテーションの実施

企画提案書及び見積書について、プレゼンテーションを実施する。時間、場所については、別途連絡する。

(3) 審査方法

企画提案書、見積書、プレゼンテーション及びヒアリングについて、評価基準に基づいて、プロポーザル選定委員の意見（採点等）を聴取し評価を行う。

(4) 契約候補者の選定方法

別表「令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務委託公募型プロポーザル審査会審査基準」のとおり。

(5) その他

次に掲げる事項に該当する者は、失格とする。

ア 提出書類に虚偽の内容を記載した場合

イ 本実施要領に示した企画提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した場合

ウ 見積書の金額が2(4)の委託料上限額を超える場合

エ 評価の公平性に影響を与える行為があった場合

オ 評価に係るプロポーザル選定委員に対して、直接、間接を問わず故意に接触を行った場合

カ その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合

6 選定結果の通知・公表

契約候補者選定後、参加者全員に選定又は非選定の結果を通知する。また、契約候補者の名称等をホームページに掲載する。なお、審査内容に係る質問や異議は、一切受け付けない。

7 契約手続

(1) 契約候補者に選定された者と協議会との間で、委託内容、経費等について再度調整を行い、協議が調った場合、委託契約を締結する。

(2) 契約代金の支払いについては、原則、精算払いとする。

(3) 契約締結の協議が整わなかった場合には、審査結果の上位の者から順に協議を行う。

別表 令和4(2022)年度G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合関連業務委託公募型

プロポーザル審査会審査基準

- 1 評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、各選定委員（5名）が採点する。
- 2 評価項目ごとの評価点数の総和をもって、企画提案者ごとに各委員の評価点数を決定する。
- 3 企画提案者ごとに、全選定委員がつけた評価点の中で最高点及び最低点を除いた平均点を算出し、最も高かった者を契約候補者として選定する。なお、平均点が最も高い者が複数の場合は、見積書の金額が最も安価な者を契約候補者として選定する。金額も同額の場合は、当該者は、当初見積額の範囲内で見積書を再作成し、再提出された見積書の金額が最も安価な者を契約候補者として選定する。
- 4 各選定委員による評価の合計の平均点が60点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

区分			評価項目	配点
1	業務内容の理解度	(1)	本事業の目的を理解した提案であるか。	5
2	企画提案の的確性	(2)	【会議支援業務】 本業務をより効果的に実施するための提案がなされているか。	15
		(3)	【魅力発信業務】 本業務をより効果的に実施するための提案がなされているか。	25
		(4)	【歓迎機運醸成業務】 本業務をより効果的に実施するための提案がなされているか。	20
		(5)	その他、仕様書に記載されておらず、かつ審査上評価すべき独自の提案があるか。	10
3	企画提案の実施可能性	(6)	実施体制、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。	10
		(7)	十分な類似業務の実績があり、業務遂行能力が認められるか。	10
		(8)	業務内容に見合った適切な経費であるか。	5
合計				100